

川の生き物調査隊2012 実施報告

戻る

【第1部】

1. 日 時：2011年8月4日（土）8:30～11:45
2. 天 候：晴れ
3. 場 所：寒川広域リサイクルセンター及び目久尻川親水護岸
4. 参加者：一般参加 30名
 2歳から小学6年生までの19名
 （2歳1名、幼稚園児2名、小学生16名）
 保護者11名
 ※参加者のうち、当日参加3名
 ※講師 勝呂氏（水産技術センター内水面試験場）
 アシスタント2名 住倉氏（NPO法人神奈川ウォーター・ネットワーク）、相川氏（NPO法人Dream eggs ゆめたま）
 会員事務局 16名 合計49名
5. 実施内容：
 - 8:20 一般参加者の受付開始
 - 8:40 開会、当日の説明（環境課）
 - 8:50 目久尻川や相模川で見られる身近な水生生物について勝呂氏より説明。
 - 9:45 川へ移動して観察開始。川の中では魚網の柵を設けて魚の追い込みを実施。川底に足を取られて転んだり、魚が網に入るたびにあちこちで賑やかな歓声。
 - 11:00 川から上がり、2班に分かれ採取した魚、水生昆虫の解説と観察を実施。小学生の子ども達は魚や水生昆虫の名前を良く知っていました。お目当てのウナギや鮎は採れなかったが、生き物調査で初のナマズ（子ども）採取。魚の記録と感想を用紙に記入提出して解散。
 - 11:30 採種した魚や水生昆虫は観察の後、目久尻川に放流しました。

〔採種した生き物と数〕

魚：ウグイ（2）・タモロコ（3）・メダカ（25）・ギンブナ（15）・オイカワ（3）・ドジョウ（5）、ゴクラクハゼ（2）・ナマズ（1）・コイ（1）・モツゴ・アブラハヤ等。
 その他：アメリカザリガニ（20）・モクズガニ（6）・ミナミテナガエビ・カワリヌマエビ・ヒラテナガエビ・ムギツク・ハグロトンボ（3）・ヤゴ（4）（ハグロ、コオニヤンマ）・イシビル類・アメンボ（数匹-ナミアメンボ、ヒメアメンボ）・タテハチョウ・ガムシなど。

〔いただいたアンケート〕

川の環境のことなど、貴重な意見を参加者（保護者含む）19名中14名から回答頂いた。

【第2部】

1. 日 時：2011年8月4日（土）13:00～15:00
2. 場 所：リサイクルセンター会議室
3. 参加者：会員 9名 事務局2名
4. 内 容：
 - 勝呂氏に午後も引き続き講師をお願いして『自然環境部会』の勉強会実施
 - ・テーマ“目久尻川の生息生物と生息環境の変遷”
 - ・講義と意見交換
 - 勝呂氏の幅広い活動経験を元に県内の河川や池などの生息環境の変遷を説明頂き、今後の目久尻川環境保全について貴重な教授を得た。

写真1：川の生物に関する勝呂さんの説明



写真2：いよいよ川へ入ります。



写真3：生き物はどこだ？（1）



写真4：生き物はどこだ？（2）



写真5：生き物はどこだ？（3）





写真 6 : 生き物はどこだ? (4)



写真 7 : いきものはどこだ? (5)



写真 8 : 採集した生き物の説明 (1)



写真 9 : 採集した生き物の説明 (2)



写真 10 : モクズガニとアメリカザリガニ

写真 11 : メダカや小魚



写真 12 : 初めて採集したナマズの子供

写真 13 : みごとなオイカワのオス

